

平成29年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書（概要）

1 学校紹介

富津市立富津小学校 学級数7（2） 全校児童数201名

2 研究主題

「わかる・できる」楽しさを知り、進んで学習に取り組む児童の育成  
～算数科における学習システムの充実を通して～

3 研究の概要

（1）学力向上のための取組

①授業改善 ～「書いて考える力」の育成～

- ・毎週、週案と共にセルフチェックシートを活用し、自己の授業のふり返しを行い、授業改善に取り組んでいる。「書いて考える力」の育成を授業改善の重点として掲げた。指導過程のどの場面で「書く活動」を位置づけたか、どんな手立てを講じたかを明記する欄を本校独自に設けて、日々の授業を通して意図的に取り組んでいる。
- ・毎学期、ベストノート賞を授業部門と自学部門に分けて各学級で選考し、表彰している。児童にとっては、授業や家庭学習での日常的な取組が認められる場として、教師にとっては、自己の「授業改善」の成果を測る場として機能させている。

②校内研修

- ・『「わかる・できる」楽しさを知り、進んで学習に取り組む児童の育成～算数科における学習システムの充実を通して～』という研修テーマのもと、算数科の基本的な学習システムを共通理解し、共通実践することを目指してきた。「積極的に問題解決型の授業を展開すること」を重点として、取り組んでいる。また、基礎的・基本的事項の定着を図りつつ、思考力・表現力をつけるための指導改善に努めている。

③教育課程

- ・日課時程の月曜から金曜の清掃終了後、13:35～13:45の10分間を「チャレンジタイム」として、基礎的・基本的事項の定着のための時間を設けている。

④授業外の取組

- ・「学力」を「知」「徳」「体」の総合力として捉え、全てをバランスよく育むために、3つのプロジェクト体制で取り組む。「確かな学力プロジェクト」はもちろんのこと「健康な体プロジェクト」と「豊かな心プロジェクト」は、「学びに向かう力」の土台づくりとして位置づけている。

（2）加配教員の活用 ～「学びに向かう力」の育成～

- ・算数を中心として、教頭・教務主任・加配教員等によるT T指導や少人数指導を行い、より良い学習環境を整えられるような努力をしている。特に下位児童の「学びに向かう力（学習意欲）」の育成につながるように、習熟度のグルーピング等に配慮している。また、本年度はより多くの学年が少人数指導やT.Tによる指導を受けることができるように全校の日課を組むなど、効果的な活用に向けて取り組んでいる。

4 今後の課題について

- ・学びに向かう姿勢を「継続」させること、学習内容の定着を「徹底」することを全職員で意識していきたい。
- ・家庭学習時間が伸び、家庭学習の習慣が身についてきている。今後は、学習量だけではなく学習の質的な向上を含めながら、家庭学習の充実を図っていきたい。